



資料代: 2日参加 3,000円、1日のみ参加 2,000円
 ※会場参加とZOOM参加は同額になります。
 ※資料不要の介助者と高校生以下は無料です。

34才でセーラー服を着た私

実行委員長 野島久美子

私は小さいころは養護学校だったけどつまらなかった。自分が出せなくて泣いてばかりいて、朝同じ時間にげろ吐いていました。原因はわからないけど、高等部卒業してピタッと止まりました。施設に入って、今度は体が不安定になってきました。それでわらじの会に入って、たまたま東武電車のエレベーターを作る運動に参加して、その時に原みっちゃんという子と出会い、本当に重度障害者で、こんな子をなんで普通学級にいさせるんだと思いました。家出して一人暮らしをするようになって、猪瀬良太くんたちが地域の高校に行きたいと何度も受検したんだけど入れなくて、社会人の障害者が県立高校受検したらどうかという話が出てきて、じゃあ私も入るって10人ぐらいで受検しました。与野高校を受検した私と武内もとみちゃんがダメで、私は2年目に合格しました。そういうことがあって、でもわたしは大人になって普通学級(高校)に入って楽しかったです。はじめて持った定期券で通学したのがすごくうれしかった。テストがあって0点を初めてもらった。養護学校は勉強できなくても点はくれるから、これが0点だって初めて知りました。通信簿だつてきれいに1が並んでいました。1年留年したけど卒業しました。ぜひ埼玉に来て、皆さんの体験も聞かせてください。

ぜんたいかい あんない
全体会の案内 13:00～15:30

シンポジウム 「出会えないのはなぜ？」

駅にエレベーターも付いたし、介助の制度もだんだんとできているし…その割には街中に障害者がいないし、職場で働く障害者も限られているし、特別支援教育に進む子どもがとても増えている。これが共生社会？このまま分け続けられるのか？やっぱり一緒にいい！変えていこうよ！まずは「出会えないのはなぜ？」と、これまでや現状を掘り下げてみます。

ファシリテーター 小国喜弘さん（東京大学大学院教育学研究科所属バリアフリー教育開発研究センター）インクルーシブ教育の実現に向けて各方面で講演、提言を行っている。

木村俊彦さん（新座市）
 元養護学校教員、元市議。キャベツの会を結成。地域福祉と共に、就学問題に取り組む。

シンポジスト

石川享助さん（小川町）
 元小学校教員、埼玉教組。埼人教代表として人権・同和教育を進めてきた。

三井絹子さん（国立市）
 かたつむりの会。全国介護保障要求者組合で文科省交渉に取り組んでいる

野島久美子さん（春日部市）
 埼玉障害者市民ネットワーク代表。武里団地暮らし、自立生活40周年を祝った。

山下浩志さん（越谷市）
 1970年代に「わらじの会」が発足。現在は「世一緒」で職場参加に取り組む。